

平成 17 年 1 月 11 日

各 位

不動産投信発行者名

東京都千代田区紀尾井町4番3号  
泉館紀尾井町ビルディング

日本リテールファンド投資法人

代表者名 執行役員 廣本裕一  
(コード番号8953)

問 合 せ 先

三菱商事・ユービーエス・リアルティ株式会社  
代表取締役副社長 浅井秀則

TEL. 03-3511-1692

### 公募による日本リテールファンド投資法人債について

本投資法人は、本日開催された役員会において、国内無担保投資法人債の発行にかかる包括決議を行い、より機動的かつ資本市場に軸足を置いた長期資金調達手段を確保致しました。

#### 記

発行総額	1,000 億円以内（但し、1回又は複数回に分割して異なる条件及び発行日により発行することができる。）
各投資法人債の金額	1 億円以上
発行時期	平成 17 年 1 月 12 日より平成 18 年 1 月 11 日までの間
資金使途	投資法人による新たな特定資産（投資信託及び投資法人に関する法律第 2 条第 1 項における意味を有します。）の取得資金、改修工事資金、借入金の借換資金、投資法人債の償還資金、敷金・保証金の返還資金、運転資金等に充当する。
担保・保証	投資法人債について物上担保及び保証は付さず、また特に留保する資産はない。

今回の国内無担保投資法人債発行にかかる包括決議は、昨年 12 月 1 日の特定有価証券の内容等の開示に関する内閣府令の改正施行によって可能となった発行登録枠設定（効力発生日：平成 16 年 12 月 27 日）にもとづき、一般企業と同水準の機動的な公募債発行を行うものであり、同時に、「資本市場との密接な対話を通じた、より健全かつ透明性の高いバランスシートの構築を目指す」という長期財務戦略の一環と位置付けられるものです。

また、今後とも、財務体質改善や減損会計の導入を睨んだ国内大手企業の旺盛な資産売却ニーズの受け皿として、或いは、大手小売業の大型新規店舗開発プロジェクトに対する出口候補としての参画等を通じ、優良な商業不動産に絞って投資を行っていく方針です。その為の資金調達にあたっては、投資口（投資証券）の継続的な追加発行に加え、本投資法人債の継続的な起債を実施することにより、一定の流動性を確保しつつ、公募投資法人債のベンチマークと位置づけられることを意識しております。

以 上